



NO ESTOY YO AQUI QUE
SOY TU MADRE

あなたの母である私がここにはありませんか

皆さんにカタールワールドカップに出場した、
いくつかの国をご紹介します。

さて、これらの国はどこでしょうか？この3つ
の国の共通点がおわかりになるでしょうか？











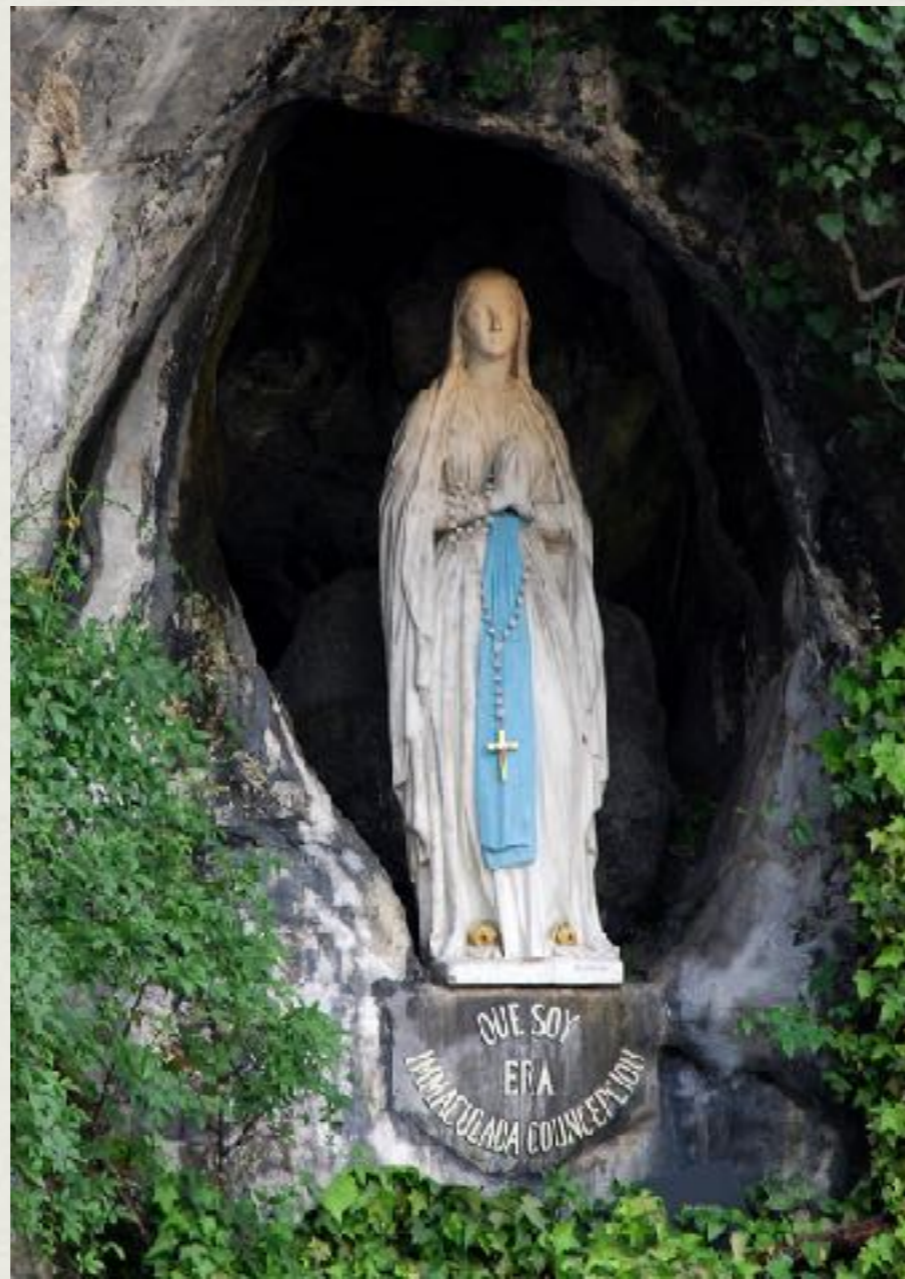




すべて教会が公式に認めた聖母の出現地であるという
ことです。

世界3大聖母出現地、

メキシコのグアダルーペ、フランスのルルド、そして
ポルトガルのファティマ。

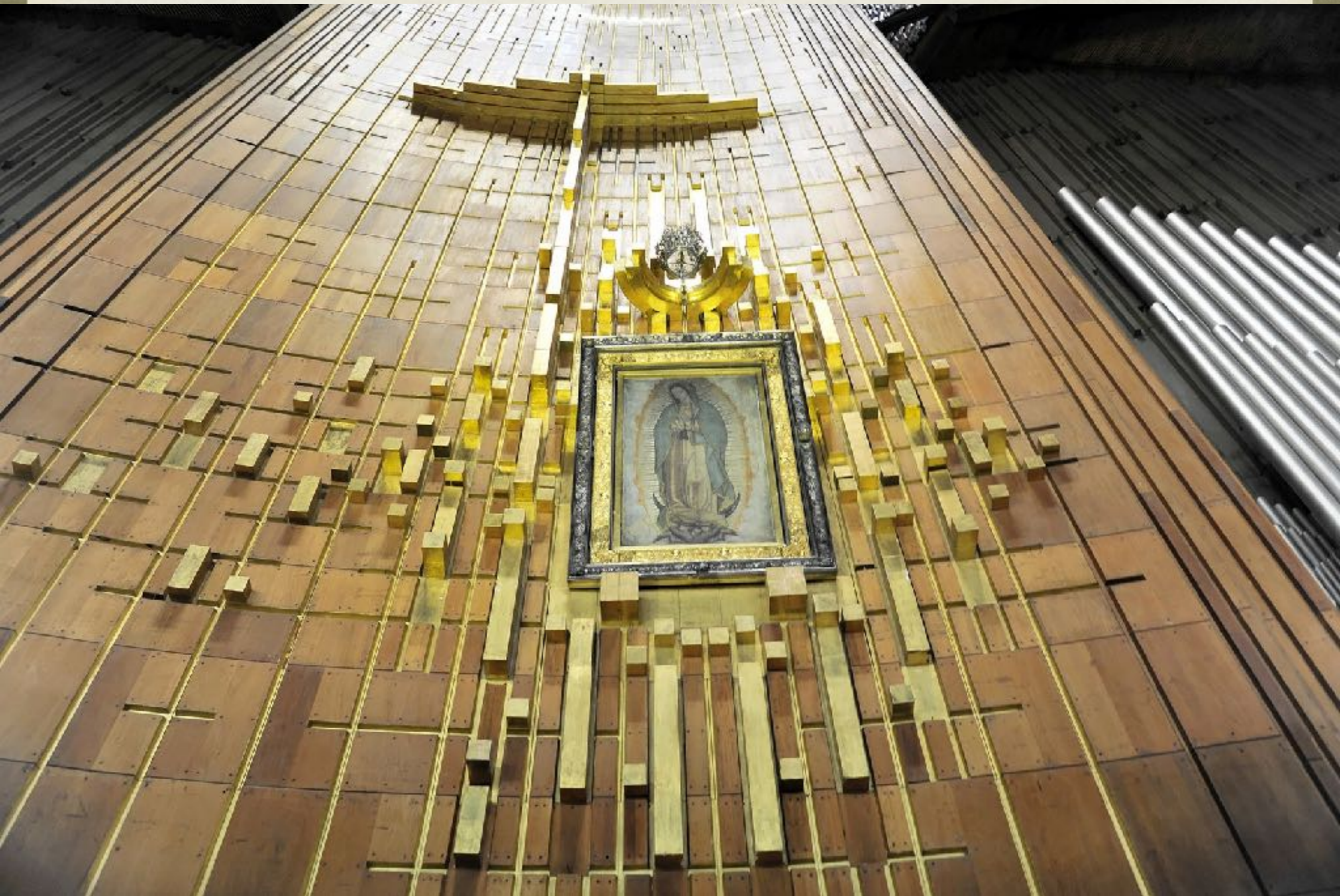


日本人は「3大」という表現が大好きですね。

3大夜景、3大牛肉、3大イケメンなどなど。

- たまたまですが、
- 私はこれらの聖母の出現地を2度ずつ訪れるという、大きな恵みを受けました。
- 私たち信者が最も多く捧げている祈りの一つがロザリオの祈りですが、
- 私たちはその祈りを通じて、個人的な何かを求めます。
- しかし、聖母は何か私たちの願いを叶えるために出現したのではない、
- ということを、私はそれらの巡礼を通じて悟りました。
- それぞれの出現地には、それぞれのメッセージがありました。







- 1531年12月9日、
- メキシコの先住民フアン・デイエゴに現れたグアダルルーペの聖母は次のように述べています。
- 「苦しい時に心から私を求めている人たちに、私の愛、慈悲、助けと保護が目に見えるように、私が今いるこの場所、テペヤクの丘に聖堂を建ててほしい」。
- そして

- 叔父の病気を心配しているフアン・ディエゴに、
 - 聖母はまた次のような言葉をかけました。
 - 「私の愛する小さな息子よ、私の話をよく聞いて心に留めておきなさい。
 - 心配したり悲しみに浸ったりしてはいけません。
 - 病気、悩み、不安、心配、苦痛を恐れなくて下さい。
- あなたの母である私がここにいるではありませんか。」















- 1858年2月11日、
- フランスの小さな田舎町ルルドに出現した聖母は、
- 少女ベルナデッタにご自分を「無原罪の御宿り」であると明かし、
- 「悔い改めなさい、罪人のために祈りなさい」というメッセージを伝えました。
- この当時、ヨーロッパの社会では知識人たちが教会の教えに不信感を抱き、
- 教会から離れていこうとしていました。
- この時、ルルドの聖母は病者たちを回復させる奇跡を起こし、そのご出現を通じて、信仰を失っていく時代に悔い改めを促し、再び信仰の炎を燃え立たせて下さいました。
- 物質主義と見た目の華やかさに引かれて信じる心を失っている今日、
- ルルドの聖母のメッセージは依然として有効だと思います。





- 第一次世界大戦のまっただ中であつた1917年、ポルトガルの小さな町ファティマで7歳のヤシタ、
- 9歳のフランシスコ、10歳のルチアの3人の子供が聖母の出現を目撃しました。
- 子供たちに伝えたメッセージの内容は、
- 罪人たちの悔い改め、世界平和のための祈りに要約できます。
- 聖母はご自分を「ロザリオの元后」と紹介し、
- 「世界平和のために毎日ロザリオを捧げること、
- 罪人のために犠牲をすること、
- そして聖母の汚れなきみ心を敬うこと」を要請しました。
- 特に、共産革命の混乱のさ中であつたロシアを「聖母のみ心に奉獻」するよう伝えました。
- 「ファティマの聖母」は、平和のための祈りの象徴として、特にウクライナ侵略で平和が脅かされている今の世界により切実な存在だと言うことができるでしょう。

